

造影検査に関する説明と同意書

病歴番号
氏名
生年月日
依頼日

1. 造影検査(CT・MRI・血管造影検査)では、造影剤を使用することにより診断能の高い画像を得ることができます。
2. 造影剤は安全性の高い薬剤ですが、稀に、次のような副作用を生じることがあります。
- 軽度：吐き気や嘔吐、動悸、発疹、頭痛、めまい、血管痛など（100人に1人程度）
- 重度：血圧低下、皮膚潰瘍、呼吸困難、意識消失など（2.5万人に1人程度）
3. 副作用の可能性を事前に調べるために以下の問診事項にお答えください。

①	今までに造影剤で具合が悪くなったことがありますか？	☐ ない ☐ ある
	【ある場合】どのような副作用でしたか？ ()	
②	今までに喘息と診断されたことがありますか？	☐ ない ☐ ある
③	今までに薬や食べ物で、アレルギーが出たことがありますか？	☐ ない ☐ ある
④	今までに甲状腺の病気と診断されたことがありますか？	☐ ない ☐ ある
⑤	今までに腎機能が悪いと診断されたことがありますか？	☐ ない ☐ ある
⑥	妊娠または妊娠の可能性がありますが？または授乳中ですか？	☐ ない ☐ ある
⑦	今までに心障害と診断されたことがありますか？	☐ ない ☐ ある
⑧	今までに肝障害と診断されたことがありますか？	☐ ない ☐ ある
⑨	褐色細胞腫と診断されたことがありますか？	☐ ない ☐ ある

4. 万が一副作用が生じた場合は必要に応じて最善の処置をさせていただきます。
5. 造影剤を急速に注入するために、まれに血管外に造影剤が漏れることがあります。通常は時間がたてば吸収されますが、漏れた量が多い場合には処置が必要となることもあります。
6. 造影剤は体外に排泄されますので、特に制限のない場合は検査後に十分な水分を摂るようにしてください。
7. 副作用は、造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、1時間～1週間ほど経過してから症状が出てくる場合もあります(遅発性副作用)。異常が出たときは、速やかに当院までご連絡下さい。

医師確認

- ①ヒグノイド系糖尿病薬を使用していますか？メトホルミン（ はい いいえ 不明 ）休薬期間 月 日 ～ 月 日
(ヒグノイド系糖尿病薬の併用によって乳酸アシドーシスが発現した報告があり、一時的に中止する必要があります。緊急の場合を除く) 投与後48時間は中止する可能性があります
- ②血清クレアチニン値(現時点における直近データ) mg/dl (年 月) 又は 不明)

説明実施日:平成 年 月 日 医師名:

私は、上記の説明を受け、その必要性と副作用について理解しましたので、造影検査に同意します。

記入日 平成 年 月 日

(ご署名) 氏名 又は 代理人 氏名

(連絡先)医療法人 桜希会 東朋八尾病院 電話 072(924)0281